

2009年12月7日
No 0922号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
連絡先 〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail minyu88sgd@wing.com.ne.jp
HP http://meinyu-suogi.web.infoseek.co.jp

「牛乳でないものを牛乳と偽る」 乳等省令違反で摘発

誤解していた「など」といいますが、
表示を「牛乳」と換えたためにおきた
違反事件でした。
脂質を「低」
として
販売して
いたま
したが、
表示を「牛乳」と換えたためにおきた
違反事件でした。
脂質を「低」
として
販売して
いたま
したが、



製造販売を中止し大きな損失を出し
ているのです。
違反の内容は、製品の比重が「牛
乳」と定められた省令基準をはずれ、
規格外
であったため
です。9月
以前に
は、前々
から同
じく「低
脂肪牛乳
」を「低
脂肪牛乳
」として
販売して
いたま
したが、
表示を「牛乳」と換えたためにおきた
違反事件でした。

またなのか!
明治乳業よ

問われる経営陣の責任
ないが「問われる」コンプライアンス

事態は国民の食に関する問題です。
業界トップ企業として「誤解」で
まされるものでしょうか。「牛乳で
ないものを牛乳として売る」、規格
違反であっても儲けを優先させる企
業体質が、その根底にあるものとい
えます。
コンプライアンスはどうなってい
るのでしょうか。企業の社会的責任
と、経営陣の姿勢が厳しく問われる
ものです。

過去4年間の株主総会で 問われた不祥事問題

- 【2005年】
 - ◎ 稚内工場＝「大腸菌汚染脱脂粉乳再利用」の食品衛生法違反
 - ◎ 関東工場＝ヨーグルト「LG21」にガッセリー菌未添加で製造・販売
 - ◎ 北陸事業所＝「コープ3・6牛乳」の原料乳産地偽装で契約違反
- 【2006年】
 - ◎ 岡山工場＝「星の香牛乳」にガラス粉混入
 - ◎ 九州工場＝「ウーロン茶」に塩素水混入
 - ◎ 粉ミルク「明治ほほえみ」の表示違反
- 【2007年】
 - ◎ おまけ商品「クラッカー」の賞味期限切れ発覚
 - ◎ 関西テレビ「あるある大辞典」に関わる疑惑
 - ◎ 静岡工場＝不良冷凍製品の回収品を再利用（08年でも再質問）
- 【2008年】
 - ◎ 千葉明治牛乳＝大腸菌汚染牛乳の出荷販売
 - ◎ 関西工場＝牛乳への赤サビ混入
 - ◎ 明治ケンコーハム＝「ロースハム」に基準以上の亜硝酸ナトリウム残存

第13回支援共闘会議総会
日時 2010年1月23日(土) 午後3時～5時
会場 東京労働会館・地下会議室
「新春争議団・旗びらき」
日時 2010年1月23日(土)
会場 ラパスホール
会費 3,000円
争議解決への運動方針をつくり、「新春旗びらき」で皆様と交流を深めます。ご参加をお待ちしています。

私と明乳争議 山城重久さん

(千葉県支援共闘会議事務局長)



明治乳業原告団の不屈の精神はどこに源泉があるのか？よくぞ明るく頑張っている姿を見るに付け感動を通り越し畏敬さえ感じます。問い返すのは、自分がその立場におかれたら原告の皆さんと同じように闘えるかです。答えはいつも「多分、出来ないだろう」です。よって、自分が出来る支援はしたいとの思いです。
それにしても、明治乳業の労務政策の異常さは突出しています。従業員が少なく労使関係には疎い中小企業ではないのです。日本の食品産業のトップ企業で労働基準法も労使関係も知りつくした企業です。なぜ話し合おうとしないのか？紛争を解決させる姿勢を見せないのか？疑問です。
こういう労務政策の姿勢を持つ企業が経済界の中で異質になぜ見られないのか？経済界の姿勢も疑問です。どのような方法でも儲けていければ、それで良いのか？明治乳業争議のたかいは、経済界の労働者に対する姿勢に通じる闘いとして、必ず勝利させようではありませんか！

全国都労委事件
調査期日
2010年
1月20日(水)
10時～11時

新しい和田正隆公益委員のもとで重要な調査期日になります。皆様方の傍聴ご支援よろしくお願いいたします。

楽しかった救援美術展 (2009年 10/29・30・31・11/1)

準備会を含めると10ヶ月余りの取り組みであった。この間、実行委員会は8回ほどであったが、実行委員会には31団体、42賛同団体と3年前の美術展を大きく上回りました。また実行委員会には、日ごろ労働運動とは余り縁のない「よい芝居を観る会」歌声サークル「プリマベラ」、民主文学「しもうさ」支部、そして新婦人の皆さんなど、参加団体は労働組合だけではありませんでした。実行委員会では、「取り組みは楽しく」をもっとうに、イベントを企画、「川村美術館見学と蛍狩り合宿」「桃狩りと餅つき合宿」と泊り込みの交流会を実施。そして「出展美術家を囲む会とミニ美術展」では矢田健爾、画伯のユーモアを織り交ぜた「絵の見方」などのお話しがとても勉強になりました。矢田画伯は自らのブログにこんな感想を記されています。(一部を紹介します)

—— オープニングはアルコール抜きでしたが、無形文化財のお神楽、平木さんの鯛釣りの踊りが気に入りました。歌あり、フラダンスあり、楽しく時間が過ぎました。2次会はアルコールが入り盛り上がりしました。私は、挨拶で云い足りなかったことを追加しました。文化を持たない軍隊はおろかな軍隊であり、—— 戦に勝てるはずがない。なぜなら世の中のことは世論が決する。人の心を文化でつかみ世論を動かすから

だと語り、大きな拍手をもらいました。争議団の人たちと語り、似顔絵を描いて25年間の闘いは何だったのか？
—— 裁判の結果は敗れたものの闘った人たちの人権を高め、企業の社会的責任を想起させて、雪印乳業のように利益追求だけに走らせなかった役割に意義があったと感じました。そのことでこちらが励まされた思いです。会場で民主文学の看板作家山形暁子さんと知り合い、私の厚木の静かな叫び声ともいうべき厚木基地反対闘争の作品を気に入って頂き嬉しく意気投合しました。

*美術展来場者 350～400名 宣伝チラシ10万枚配布 呼びかけ人239名 宣伝カー6日間実施
*たくさんの素敵なお声かけに、大きな力をいただきました。有り難うございました。

団員の横顔

全国事件(京都工場出身)
加藤和彦常任委員
どこまでも楽天的な
加藤ちゃんです



全国申立人の最若手、それが加藤和彦こと「加藤ちゃん」です。夢をふくらませて明治乳業大阪工場に入社したのに「大阪では本採用になれない」と言われ、西宮工場に転勤、西宮では「工場閉鎖」と言われ京都工場へ、社会人のスタートから明乳の「合理化」の嵐に巻き込まれ鍛えられ続けて来た。おかげで少々の事ではへこたれないおらかな活動家として成長した。
卓球はインターハイ級の實力をもち、部屋には様々な大会の表彰状が額に収まっている。今でも各地でコーチを務め、指導にあたっている。かと思つて囲碁も相当なもの。
さらにはカラオケでマイクを握ると歌声で鍛えたのが黙つていない。「千の風になつて」など歌いだすともう止まらない。
そんな加藤ちゃんだから誰からも好かれる。職場でもパートのおばちゃん？たちから絶大な信頼を得て来た。職場でも株主総会でもパートの時給引き上げを訴え続けて、実際に引き上げを実現させた。マイクを握つたら離さないのはカラオケだけではなく、争議の宣伝行動でもマイクを握つたらとうとうと訴え続ける。「京都から誰れも申しないのはあかん」と、ただ一人立ちあがった義理も人情も厚い加藤ちゃんです。

年末カンパご協力のおかげ。
経営統合によって、明乳本社包囲行動2回、明治ホールディングス行動4回・座込み延べ9日間実施。全国事件都労委個別証人上京費などに伴うご支援に心よりお礼申し上げます。運動の前進をつくりあげるためにこの年末におかれましてはご支援・ご協力を呼びかけさせていただきます。

「経営統合」契機に解決責任せまる新たな闘い

25年にも及ぶ労働争議「明治HD・明治乳業」は争議の解決に向けて社会的・道義的責任を自覚すべきです

親会社「明治HD」は解決責任を果たせ!

本年4月の経営統合を契機に、争議解決の当事者責任が明治乳業と共に、親会社「明治HD」にも移譲。争議団と支援共闘会議は、この新たな局面を踏まえ、特に、八重洲南口での宣伝行動に、明治HDへの行動を重視し、4月以降連続的に強めてきました。「4・1東京争議団総行動」での社前行動を始め、「5・28全労連



争議支援総行動、「9・11東京地評争議支援総行動」、1東京地評争議支援総行動、

「11・7全労連・東京地評総行動」と、4次の社前抗議・要請行動を実施。さらに、各総行動の前段には2〜3日の社前「座り込み」行動を配置し、八重洲南口での宣伝行動も併せ、明治製菓社員や社前通行人など多くの方に、明治乳業の異常な企業体質を告発し、「食の安全」と争議解決は表裏一体であると訴える等、共感と支援の広がりを実感できる行動となりました。

異常体質に汚染される「明治HD」に未来はない

「明治HD」行動で特徴的なのは、回を重ねるたびに明治乳業の異常体質が全面に押し出されていることです。結局、明治乳業が明治HDに持ち込んだ、労働争議が半世紀近く



元野村証券男女差別原告・神和子さん

も絶えない体質と、不祥事・不正行為の絶えない体質が、明治HD全体を汚染している状況なのです。明治HDの副社長に就任した浅野茂太郎社長を筆頭に、その半数を明治乳業経営陣が占めるもとので、

さらには、さらに、継続的に「明治HD」攻めを強め、企業体質を巡る矛盾が、社内的にも、「食の安全」を求める世論としても、さらに拡大することを追及します。「12・11明乳本社包囲行動」の成功も含め09年の到達点を跳躍台に、来年こそ決定的に明治乳業と明治HDを追いつめ、全面解決への突破口となる道筋を切り開くことを目指し奮闘する決意です。



明治HD前・怒りの拳

さらに包囲行動を強め解決への道筋を切り開く!

都労委「全国事件」申立人ら証人の大半を終了

深刻な格差(差別)と不当労働行為が鮮明に



執拗に抵抗する会社を退け、終了。残るは、大阪工場・根実質審理を開始した都労委で、室工場の一回延となって新年は、申立人ら主尋問(2名)を迎えます。この間、7工場に続き、9事業所代表の申立の証人らは、明治乳業が昭和40年代初頭から、「大合理化」すでに7事業所の主反尋問が

「職務遂行能力」など、恣意的な評価項目を盾に反対尋問

会社は、都労委が市川工場反対尋問で執拗に印象づける事件で、申立人らが企業内とか、昇格時期の差別的な扱「苦情処理委員会」を活用しないでは、「職務遂行能力」とい



証言を終えた左から、石川・中村、京都・加藤、静岡・酒井各証人



都労委審問室

証しました。特に、意図的、恣意的な賃金・昇格差別の結果生じている格差は、中位者比較で年間123万円(申立人平均額)にも及んでいる深刻な実態を鮮明にしたのです。

公益委員の交代を節目に迅速・正確な審査指揮を求めます!

今年、申立人ら個別立証の重要局面でしたが、この11月の3月以降と予測されます。また、来年が都労委闘争で中嶋公益委員が退任となり、新しい公益委員の交代を節目に、迅速・正確な審査指揮を求めます。また、来年が都労委闘争で中嶋公益委員が退任となり、新しい公益委員の交代を節目に、迅速・正確な審査指揮を求めます。また、来年が都労委闘争で中嶋公益委員が退任となり、新しい公益委員の交代を節目に、迅速・正確な審査指揮を求めます。